



令和6年度
事業計画(案)

社会福祉法人 容風会
おきなのだ

2024年 法人方針(スローガン)

～ やってみなはれ！ やらなわかりまへんで。～
『制度改定で加速する自立支援介護の波に乗ろう！』

①「利用者・住民にとって、いいと思うことをやってみよう！」

利用者・住民・家族が望む暮らし・健康状態を叶えるためにどうしたらいいか？ 今、何が出来るか？ を考え、話し合い、やってみます！

②「やってみなはれ！ やらなわかりまへんで。」

新しいことを始める時、最初はスタッフそれぞれの考えや想いの違いがあり、意識統一が出来ず前向きになれずに進まない取り組みでも、「とにかくやってみよう！ やって見ないとわからない・伝わらない！」と、リーダーが中心となって周りを巻き込み進め、成果を実感することで前向きに進みます。また、意識を統一し介護を統一するため、「根拠」(理論)をしっかり勉強します。

③「話し合えば何とかなる。とにかく話し合おう！」

職種関係なく、日々日常の中で小さなこともたくさん話し合い、「どうしたら出来るか、今、何が出来るか」に変え前に進もう。
「話し合えば何とかなる！」利用者・住民・家族の希望やスタッフの要望や挑戦に応える・応援する存在になります。

④「あたりまえのことを、あたりまえにやる！」

人生の最期までその人らしく尊厳を守り、寝たきりを無くし、本人や家族の望む暮らしと健康状態を守り叶える気持ちをあたりまえに持ち、やれることをあたりまえにやれるようします。やり続けます。
介護保険制度の改定により加速する自立支援・重度化防止の波に乗り遅れないよう、医療と介護の連携を強化し、しっかりと変化に対応していきます。

特別養護老人ホーム おきな の 杜

2024スローガン

全員で「自立支援介護施設 おきな の 杜」を完成させます。

〈運営方針〉

自立支援介護を学んで3年目を迎えます。今後、「おきな の 杜は自立支援介護を実践している施設です。」と言えるため、全力で学びます。住民様・ご家族にとって、いいと思う事をやってみるためにどうしたらよいかを職種関係なく全員で話し合い、とにかくやってみる、上手いかなかったときは更に話し合い、あの手この手を考えてチャレンジしていく年にしたいと思います。住民様・ご家族の「夢」や「希望」を聞き取り、それを叶えるためにスタッフ全員で取り組みます。主任・リーダーが中心となって周りを巻き込み進めていきます。自立支援介護の「理論」をしっかり学び、スタッフ全員のポトムアップを目指していきます。2024年は、嘱託医との連携を密に行い、医療体制を強化していきます。住民様が元気で暮らせるように健康管理を行います。早期発見・早期対応により受診・入院数を減らしていきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 住民様・ご家族の「夢」や「希望」を叶えるために自立支援介護に取り組みます。

目標2 「医療体制の強化」入院させない特養を目指します。

目標3 介護ロボットやICT等の導入を検討し、業務改善に引き続き取り組みます。

〈約束〉

- ① 住民様・ご家族の夢や希望を「夢カード」で見える化します。
- ② 「夢」を叶えるために自立支援介護に取り組みます。
- ③ 「できる」まであきらめません。

〈約束〉

- ① 入院数・受診数の半減を目指します。
- ② 嘱託医との連携を図り、早期発見・早期対応を行います。
- ③ 状態の変化、異変を見逃さず、素早く連絡・相談を行い、適切に対応します。

〈約束〉

- ① 見守り機器等のテクノロジー導入を検討し、更なる業務改善に取り組みます。
- ② 介護ロボット等の福祉用具は住民様の状態に合わせた物を使用していきます。
- ③ スタッフの休憩時間を確実に確保し、休憩の取りやすい職場環境を作っていきます。

ショートステイ おきな杜別館

2024スローガン

Let's move forward together ! 自分らしく活気溢れる毎日を！！

〈運営方針〉

一人ひとりそれぞれ歩んで来た人生があり、経験があり、障害・疾病を抱えながら生活をされている中で、私たちに出来る事は何だろうと、考えながら日々、業務に励んでいます。自立支援介護を学び3年目。今年度は、学んできた事に自信を持ち、個々に合った自立支援介護をご利用者と共に実践していきます。少しでも在宅での生活が継続できるようにサポートし、ご利用者やご家族の悩みを解決できるように常に連携を図り、出来る事を持続できるように取り組めますが、ご利用者、ご家族にも自立支援介護を学んでいただき、一緒に取り組めます。最近では、ご利用者から〇〇に行きたいけど・・・、〇〇食べたいけど・・・、でも家族には言えないから・・・と言われる事が多くあります。少しでも楽しく過ごしていただけるように、出来る事から実施します。高齢だから・・・と諦める事なく、その方の「強み」を引き出し、出来る事が増えたと言われるように、今以上にご利用者・ご家族が望んでいる事や叶えたい夢等を私たちが引き出し、日々の生活が安心・安全に、そして笑顔の溢れるものになる様にサポートする事を約束します。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 あなたの夢を叶えます。

〈約束〉

- ① ご利用者との関わりを強化し、望みを引き出します。
- ② ご利用者の生活背景を知り、適切なアドバイスを行います。
- ③ 安心・安全に在宅での生活が出来る様にご家族との情報交換を密に行います。

目標2 業務改善に取り組めます。

〈約束〉

- ① 「まずは、やってみよう」を合言葉に業務改善に取り組めます。
- ② 一人ひとりが知識を深め、介護の質を高めます。
- ③ 報連相を徹底して、細やかなサービスを提供します。

目標3 安心して過ごせる、安らげる空間を作ります。

〈約束〉

- ① ご利用者・ご家族が安心してご利用いただける様に情報交換を行います。
- ② 出来ない事を出来るように！外出企画を積極的にを行います。
- ③ 何でも相談できる環境を作り、おもてなしを提供します。

おきな杜デイサービス いきがい元気塾

2024スローガン

最高のチームで、みんなを元気に！みんなを笑顔に！

〈運営方針〉

自立支援介護を学び始めて3年目。基本ケアや個別ケアの大切さを実感し、成果を感じる場面も増えてきました。また、デイサービスにおける自立支援介護の実践には、ご家族や他事業所との連携の大切さも感じる場面が多くありました。2024年度は、スタッフ一人ひとりがしっかり根拠を理解し、統一したケアの実践、挑戦と進化を続けます。また、ご本人の理解やご家族の協力、他事業所との連携も強化していきます。元気塾は、認知症があっても、介助が必要な状況になっても、「できる」私に会いに行こう！という場所です。元気塾を選んで通所されているご利用者を元気にする！笑顔にする！当たり前のように、時間や業務に追われ、一人ひとりと向き合えないことや、ご利用者の出来ることを奪ってしまうこともあるのが現状です。2024年度、新たなチーム体制でスタートします。元気塾のメンバーは、ピンチをなぜかチャンスに変えられる力、とりあえずやってみようと思え、楽しんでみる力があります。そんなチームで、自立支援介護という武器を使い、みんなが元気に、そして笑顔になる仕組み作りを行います。気がつけば、ご利用者やご家族の生活の質が上がり、スタッフのモチベーションもあがっている、元気塾はそんな事業所になります！

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 みんなでやります！
自立支援介護！

〈約束〉

- ① 基本ケアが全員に行える仕組みを作り、実施します。
- ② 個別ケアの実践で、チームで成果を出します。
- ③ スタッフ一人ひとりが、根拠を理解し統一したケアを行います。記録管理をきちんと行います。

目標2 業務整理と業務改善、
生産性向上でチーム力
もアップ！

〈約束〉

- ① ご利用者の出来ることを奪いません。ご利用者の主体性を引き出します。
- ② 業務整理と役割分担、環境整備で効率の良さを追求します。
- ③ 話し合いと前向きな姿勢で、新たなチーム体制を築きます。

目標3 コミュニケーションで相手を繋ぐ、
相手と繋がります！

〈約束〉

- ① ご利用者同士の交流が広がる環境作りと活動参加の幅を広げます。
- ② 法人内、他部署との連携をしっかり図り、繋がります。
- ③ ご家族、ケアマネ、他事業所や地域と繋がります。

おきなのだいサービス やりがい文化村

2024スローガン

トライ(やってみる) & ライズ(立ち上がる)

〈運営方針〉

自立支援介護の取組を開始し、今年3年目に突入します。手探りでやってきた自立支援介護も、根拠(理論)をもって取り組めるようになり、職員間の連携を図りながらご利用者の希望や要望に応えていく自立支援介護もようやく確立してきました。今年の干支は「甲辰」です。干支にはそれぞれ意味があり、それによると「甲辰」は「春の日差しが、あまねく成長を助く年」になるそうです。つまり、春の暖かい日差しが大地すべてのものに平等に降り注ぎ、急速な成長と変化を誘う年になりそうです。すべてのものにとすることは、これまで陰になっていた部分にも日が当たり、報われ大きな成長を遂げるということが期待できます。昨年より、自立支援介護を通じ他施設との交流や外部研修等へ参加する機会も増えた中で、今までの「おきなのだい」の当たり前や日常に違和感を覚えることも多々ありましたが、一方で自施設の「良いところ」にも目を向ける機会が増え、伸ばしていきたいとも感じています。そして今年には制度改正の年。2025年問題を目の前にした今年の改正は、自立支援や重度化防止に向けて加速した内容になっています。法人スローガンにもあるように「やってみる」を重要視し、今までを刷新していく年にすべく、そのためには、医療介護がきちんと対話する・連携する時間を大事にし、だいサービス文化村の挑戦と向上の1年にします。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 **脱!!お世話型介護**
自立支援介護の完全
定着化をやってみる。

〈約束〉

- ① 自立支援介護をスタンダードに。ケア方法・記録の向上を図ります。
- ② 多職種での話す場を設け、成功例を増やし自信につなげます。
- ③ 日常生活援助＝自立支援介護へと定着するよう、リーダーが中心となり発信力を強化します。

目標2 **脱!!定番化**
新しい文化村のスタンダード
をやってみる。

〈約束〉

- ① 活動の発信強化をします。公募等へ積極的に応募していきます。
- ② 今までの定番化を脱却し、新たな活動スタイルの提案・提供をします。
- ③ デイサービスのみならず、自宅での運動・活動メニューを作成します。

目標3 **脱!!属人化**
スタッフのワークスタイルの
見直しをやってみる。

〈約束〉

- ① 文化村全員ができる業務を増やし、属人化を脱却します。
- ② 残業ゼロ。一人ひとりの生産性を向上させるべく常に業務改善を図ります。
- ③ 接遇・マナー・サービスの質の向上に向け、伝え合う関係を作ります。

おきなのだいサービス OKINA de ARUKU

2024スローガン

やれば、できる！！バモス！（Come on!）

<運営方針>

2年前に自立支援介護を学び始めた時は、運動特化・短時間デイのアルクでの実践は無理だと思っていました。スタッフ全員で学び、挑戦し、事例を重ねる中で、アルクでも『やれば、できる！』と思うようになりました。歩くことにこだわり、運動量の多いOKINA de ARUKUだからこそ、できる支援がある。利用者が元気で健康な毎日を送っていけるように・・・自立支援介護理論をスタッフが自ら実践し、広めていきたいと思えます。運動特化デイが自立支援に本気で取り組んで、運動と生活両方の改善を目指します。デイサービスの二刀流といえば、アルク！デイサービスの 大谷さん！と呼ばれることが、私たちの目標の一つです。また、要介護状態になっても、理想の生活や状態をあきらめない、そんな利用者の気持ちに『バモス！（Come on!）』と元気に寄り添いたい。希望にあふれた明るい場所を作っていきます。何事も、『やれば、できる！！バモス！』は私たちOKINA de ARUKUの合言葉です。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標 1 運動しよう！バモス！（Come on!）

目標 2 自立支援介護を極め、二刀流のデイを目指します。

目標 3 地域一番のデイサービスを目指します。

<約束>

- ① 楽しく運動！バモス！
前向きに歩行機能改善を目指します。
- ② 記録を更新！バモス！
成果を明確に目標達成を支援します。
- ③ 理想を現実に！バモス！
利用者の希望、夢を実現させる
一番の協力者になります。

<約束>

- ① 水分摂取の重要性を広め、習慣化します。
- ② 自立支援介護の4つの基本ケアの推進を運動特化デイでも行います。
- ③ 過介護は致しません。
利用者の自主性を高めます。

<約束>

- ① 目配り気配り心配りの精神で！
おもてなしNo.1を目指します。
- ② 成果が出る！
人気No.1のデイサービスを目指します。
- ③ 歩行改善はおまかせ。
実力No.1を目指します。

介護相談処(居宅介護支援事業) 地域介護支援センターおきなof社

2024スローガン

利用者・家族・地域のために良いと思うことをやります！

<運営方針>

2024年度は医療・介護・障害のトリプル改定の年になります。さらに、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年問題を目前に控えている年となります。現在、少子高齢化や社会構造の変化に伴い、家族の在り方や働き方、暮らしが大きく変化し、福祉を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。利用者や家族、地域住民の方々も例外ではありません。社会的な孤立などを背景に複雑な課題を抱えた人も増えており、ケアマネジャーにはこれからも質の高いケアマネジメントを実践していくことや介護や障害福祉分野、ヤングケアラーの支援等において、専門性を発揮することが期待されています。ご利用者・ご家族一人ひとりの生き方や暮らし方を尊重しながら、今後の生活が健康的で生き生きとした生活となるよう、全体像や現在の状態と今後の可能性を正しく把握し、原因や背景等を明らかにし、自立支援に結びつけた支援に取り組めます。私達、地域介護支援センターおきなof社は、様々な課題を抱えた方が社会的に孤立することなく、住み慣れた地域でその人らしく生活し続けることができるように地域に密着した多様で柔軟な支援をしていきます。人に寄り添い、関わる方々の意思を尊重しながら、地域と協働し、笑顔で頼れる『介護相談処』を目指します。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 地域包括ケアシステム構築に向け、地域における存在感を放っていきます。

目標2 改定された介護保険制度や適切なケアマネジメント手法の習熟と活用を行います。

目標3 利用者の自立支援に向けたケアプラン作成に取り組めます。

<約束>

- ① 介護教室を開催し、地域の課題に取り組んでいきます。
- ② 地域支援体制(医療と介護の連携等)の強化を図ります。
- ③ 地域の行事に参加し、地域住民の方との交流を行っていきます。

<約束>

- ① ヤングケアラー、生活困窮者等、他制度に関する知識の習得に努めます。
- ② 社内研修、相互伝達を行い、ケアマネジメントの質の向上に努めます。
- ③ 改定された内容を把握し、住み慣れた地域で生活ができるよう支援します。

<約束>

- ① その人が望む暮らしぶりや健康状態を叶えるためのプランを考えます。
- ② 出来る能力に着目し、出来ることの維持・継続を支援します。
- ③ 関係機関との連携を密に図り、利用者の自立支援を目指します。

経営管理本部 事務局

2024スローガン

事務局大改造！事務系DX推進を本気でやります！

〈運営方針〉

2024年度の介護報酬改定では、「地域包括ケアシステムの深化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた対応」「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」「制度の安定性・持続可能性の確保」が基本的な視点となっています。その中で、経営管理本部では、①働きやすい職場づくり②人材不足の中で質の向上を図るための処遇改善、生産性向上に向けた取り組み③安定的な経営と感染症や災害時の対応力強化と持続的運営、の3つを大きな目標とし、取り組んでいきます。

しかしながら事務局では、事務局員の入退職にともない、職員の入れ替わりがあり、リスタートな状態となりましたが、一人ひとりが一日も早く、高いレベルで業務遂行ができるよう取り組んでいるところです。

法人全体の生産性向上を目指すためには、まずは法人事務局の機能強化、DX化を図らなくてはなりません。

常に「より効率化を」を意識・実践し、効率化による経費見直しとその収益の有効活用ができるように経営戦略を図っていきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 総務系DXに取り組み、職員の手続きも省略化！働きやすい職場づくりを目指します。

目標2 サービスの質の向上、処遇改善、生産性向上に向け各部署と連携を図ります。

目標3 安定的な経営と事業活動を通じた持続可能な社会の実現に取り組めます。

〈約束〉

- ① 他法人との差別化を図れるような、おきな杜で働きたい、働き続けたいと思えるような職場環境を整えます。
- ② 事務業務の3M(ムリ・ムダ・ムラ)を無くす総務系DXに取り組みます。
- ③ 法人理念の浸透、人事考課制度の効果的な運用に取り組めます。

〈約束〉

- ① 報酬改定にともなう処遇改善加算の取得と運用を効果的におこないます。
- ② 新たに発足する生産性向上委員会と連携し、現場の課題の抽出と課題解決のための機器の導入等に係る助成金を最大限獲得します。

〈約束〉

- ① 収益を堅実に確保し、経営力の強化を図ります。
- ② 新たに取り組むSDGs学習会において私たちができることを学び実践します。
- ③ 避難訓練、災害訓練、地震訓練をBCP計画に沿って地域や近隣施設と連携し取り組みます。

事故防止対策委員会

2024スローガン

ヒヤリハットを見逃さない！ 住民様・利用者様の安全な生活を守ります！

〈運営方針〉

利用者様、住民様に安心してご利用いただく為、リスク管理を行い、介護事故発生の未然防止及び再発防止に努めます。事例に学び、事故やヒヤリハットの傾向を分析し、どのような対策を取るべきか、リスクに備えるための職員への教育、周知を行っていきます。ヒヤリハットについては、些細な変化に気付く能力を身につけ、小さな気付きも見逃さず、その都度対策まで考え、事故防止に繋がります。起こってしまった事故に対しては、要因、原因、対策まで検討し、同じ事故が繰り返されないよう、再発防止に取り組みます。昨年度は、転倒して骨折、病院受診や入院になってしまうケースも数件ありました。今年度は、重大事故(骨折等)ゼロを目指して、日々の気付きを大事にし、それを活かし、再発防止、事故防止について取り組み、利用者様、住民様が少しでも安全に過ごしていただけるように、全職員で取り組んでまいります。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標 1 ヒヤリハットを見逃しません。

目標 2 事故防止に取り組みます。

目標 3 事故防止に繋がる整備や研修、教育を行います。

〈約束〉

- ① 精神的、身体的、環境的变化に気付く力と意識を持ちます。
- ② 変化や気付きを、しっかり正確に記録するよう、発信し続けます。
- ③ ヒヤリハットをしっかり分析し、傾向と対策を講じます。

〈約束〉

- ① ヒヤリハットでの事故予防を行っていく事で、事故を未然に防ぎます。
- ② 病院受診のような重大事故を起こしません。
- ③ 改善策の周知徹底。経過対応を継続的に行います。

〈約束〉

- ① マニュアルや様式等を必要に応じて更新、見直します。
- ② 事故防止に繋がる充実した研修、学習会を行います。
- ③ それぞれの部門で起こりやすい事故の分析と教育を行います。

栄養管理・口腔ケア委員会

2024スローガン

元気の源は食事。口から美味しく食べ、しっかり栄養を摂る！

〈運営方針〉

2024年のおいしい・口腔ケア委員会は、「栄養管理・口腔ケア委員会」と名称を変更し、住民様・利用者様の栄養管理を中心に取り組み、口腔ケアを強化して、いつまでも口から美味しく安全に食事ができ、しっかり栄養を確保し、元気で過ごせるように支援する取り組みを行っていきます。新しい委員会の中で、住民様・利用者様の栄養状態を把握し、今の食事内容で栄養不足は起きてないかなど検証し、改善策を協議し、取り組んでいきます。昨年作成した「食形態フローチャート」を活用し、住民様・利用者様の嚥下機能を評価し、食形態のステップアップを目指していきます。そのために現在提供している食形態を大幅に見直し、新たに「やわらか食」「ソフト食」を作り、見た目でも楽しめ食欲がわくような安全な食事を提供していきます。歯科との連携を強化し、口腔機能の維持・向上に努め、新たな加算取得の準備も進めていきます。楽しい食事の演出としては、コロナで自粛していたイベント食や住民様・利用者様参加型の調理企画を再開していきます。感染対策を徹底し、安全に楽しめる企画を考え、実践していきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 食事内容と食形態を見直し、経口より栄養を摂取し、栄養管理を強化します。

〈約束〉

- ① 住民様の栄養状態を把握し、今の食事内容が適切かを見直していきます。
- ② 食形態フローチャートを活用し、住民様の食形態を見直し、ステップアップを目指します。
- ③ 食形態を大幅に見直し、「やわらか食」「ソフト食」を作りキザミ食を廃止します。

目標2 歯科と連携をとり、口腔衛生・嚥下機能強化に取り組みます。

〈約束〉

- ① 歯科と連携し、口腔機能の維持・向上に努め、加算取得も行っていきます。
- ② 適切な口腔・嚥下評価を行うための学習を行います。
- ③ 次の食形態にステップアップできるように歯科医指導の下、嚥下機能を強化、体操等で飲み込む力をつけます。

目標3 季節に応じた行事食、楽しい調理企画を実施し、楽しい食事時間を提供します。

〈約束〉

- ① 季節を多く感じられるような行事食を提供します。
- ② 5年ぶりにイベント食を開催します。ランチバイキング、寿司バイキング等
- ③ 感染対策を徹底し、住民様・利用者様参加型の調理企画を立案します。

身体拘束・虐待防止委員会

2024スローガン

スタッフ自ら学び、身体拘束・虐待をしない組織作り！

<運営方針>

日常的に行われている行為の中で、住民様・利用者様に精神的、身体的ストレスをかけていないか等の検証を行うことにより、身体拘束に対する意識と理解の徹底を図ります。身体拘束・虐待防止についてスタッフの意識付けを行い、高いレベルの介護を目指します。小さな危険を見逃さず、情報収集を徹底・共有し、住民様・利用者様が安心、安全に過ごしていただけるように努めます。また、施設内に限らず、在宅における高齢者虐待についての現状や対策を理解し、身体拘束・虐待ゼロを目指します。学習会では、スタッフ自ら進んで参加するような環境を作り、全員で意見の出し合える学習会を行います。また、利用者様に対して質の高い福祉サービスを実現するために、職場内及びスタッフと利用者様やそのご家族等とのハラスメントを防止するためハラスメントについても学び、「個人の意思」、「プライバシー」、「プライド」を尊重し、利用者様の意思で暮らす事をサポートするとともに、プライバシーとプライドを守るケアを実践するためにも、身体拘束ゼロ、虐待ゼロ、ハラスメントゼロに向けて取り組みます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 スタッフ自ら学び、身体拘束・虐待は行いません。

<約束>

- ① 指針、マニュアル、動画を使用し、学習会で周知徹底します。
- ② 3つのロック(フィジカル、スピーチ、ドラッグ)をゼロにします。
- ③ どのような行為が身体拘束や虐待になるかを学習し、身体拘束や虐待のない環境作りに努めます。

目標2 スタッフの健康状態、メンタル面に気付きやすい環境作りを行います。

<約束>

- ① スタッフが意見や不満を言いやすい職場環境を作ります。
- ② スタッフ間のコミュニケーションを活発に行い、ストレスゼロを目指します。
- ③ 学習会でストレスを溜めない方法やストレス発散について発信します。

目標3 職場内及びスタッフと利用者様やそのご家族間のハラスメントについて学びます。

<約束>

- ① ハラスメント、プライバシー保護について指針、マニュアル等を使用し、学びます。
- ② ハラスメントのリスク要因について学びます。
- ③ ハラスメント対応・対策について周知します。

感染症・食中毒予防対策委員会

2024スローガン

感染予防対策を徹底し、感染症から住民様・利用者様を守る

〈運営方針〉

2023年5月に新型コロナウイルスは2類から5類に引き下げられ、様々な制約が緩和され、私たちの生活もコロナ前に戻りつつあります。しかし、依然として新型コロナウイルスは猛威を振るい、病院や介護施設でクラスターが発生しています。おきなofの杜でもクラスターが発生し、その度に面会や行事が中止となり、コロナ前の生活に戻れていない状況でした。

2024年は、制約のない生活に戻るために、さらなる感染予防対策を行っていきます。スタッフがウイルス媒介しないように日頃からの感染対策についての学習を強化し、知識を深めます。また、日頃から感染症の状況や動向を把握し、感染が発生した場合は、感染が拡大しないための防護についての学習を繰り返し行い、スタッフ全員が確実に実践できるように学習や実技を中心に取り組んでいきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、事業継続計画(BCP)を定期的に見直します。

目標2 感染症や衛生管理の学習会や実技研修を定期的に行います。

目標3 感染症等の最新情報を把握し、予防や早期発見・感染拡大防止に努めます。

〈約束〉

- ① 事業継続計画(BCP)は定期的に見直し、最新の情報を取り入れていきます。
- ② 必要物品(防護具、消毒液、食器等)を定期的を確認し補充していきます。
- ③ クラスター発生の際に、迅速に対応できるように、主任・リーダーを中心に学習会を行います。

〈約束〉

- ① 食中毒、ノロウイルス、インフルエンザ等の学習会を行います。
- ② 年に数回BCPに基づいた感染対応シミュレーションを実践します。
- ③ 吐物処理、個人防護具着脱、食中毒に関しては、動画を活用した学習会を行い、いつでも視聴できるようにします。

〈約束〉

- ① 感染症・食中毒に関する最新情報を収集し、予防策を立案・実践します。
- ② 住民様の異常の徴候をできるだけ早く発見できるように注意深く観察します。
- ③ 季節性流行感染症は、感染拡大を防止するために、スタッフや来設者への衛生管理の周知を徹底します。

おもてなし委員会

2024スローガン

おきなプライドを胸に、おもてなしの真髓を極めます。

<運営方針>

おもてなし委員会も、『おきなプライド5-15』も3年目！おきなプライドを胸に刻み、おもてなしの真髓を極めましょう！誠実な態度とおきなプライドを融合させ、ご利用者や住民様に感動と安心をお届けしましょう。
おもてなし委員会のメンバーはおきなの杜スタッフ全員です。スタッフ参加型のおもてなし企画や学習会を積極的に行います。今年もアレンジを加えたおもてなしイベントを開催予定です。多様化していく社会の中で身だしなみのルールについても考える機会を持ちたいと思います。
おきなの杜のスタッフとして、おもてなしとは？おきなプライドの実践とは？ということをおきなスタッフが一緒に考えることができる委員会として運営していきたいと思ひます。全員で地域の皆様に愛される誇り高きおきなの杜を目指しましょう。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 おきなプライド5-15の教育を致します。

目標2 環境もおもてなし致します。

目標3 おもてなしを推進し、おもてなしを考えます。

<約束>

- ① おきなプライド5-15の実践ができるスタッフを育てます。
- ② 笑顔と挑戦を忘れず、自己研鑽をすすめます。
- ③ 役職者が率先しておきなプライドを体現しましょう。

<約束>

- ① 5S強化月間の発信を行います。(10月)
- ② 秋まつりをおもてなしの心で企画します。
- ③ 清潔を心掛け、丁寧な所作でお客様をお迎えします。

<約束>

- ① 挨拶・言葉遣い・身だしなみについて学習を進めます。
- ② 信頼・連携・コミュニケーションを大切にします。
- ③ 心の声に耳を傾け、感謝を忘れず自分にプライドを持てるスタッフを目指します。

医療・介護連携委員会

2024スローガン

医療も介護も機能訓練も！繋がって最高のチームを作ろう！

〈運営方針〉

おきな杜では利用者様や住民様を中心として、様々な職種のスタッフが関わりを持っています。
『他職種』が『多職種』になることが出来れば、一つのチームが生まれます。
医療・介護連携委員会は多職種で知識の共有を行い、チームとして最善のケア環境を築くことを目標とします。
看取り、ターミナルケア、褥瘡予防、認知症ケア、機能訓練、緊急時対応など、医療と介護の情報を総合的に学習します。
ケアスキルの向上と知識の共有を行い続けることで、より良いチームケアを目指します。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標
1 医療を学ぶ。

〈約束〉

- ① 看取り、ターミナルケアの知識を深めます。
- ② 緊急時対応、AEDの実践訓練を行います。
- ③ 医療・リハの知識に関する総合的なトレーニングを行います。

目標
2 褥瘡は早く発見・悪化させない・作らない。

〈約束〉

- ① 褥瘡が発生しないような適切なケアを行う体制を整備します。
- ② 褥瘡の発生メカニズムについて学びます。
- ③ 出来てしまった褥瘡に対するケアについて学びます。

目標
3 認知症ケアを学ぶ。

〈約束〉

- ① 認知症について理解を深めます。
- ② ユマニチュードの基本を学びます。
- ③ 認知症ケア・対応について学びます。

技術向上委員会

2024スローガン

自立支援を意識した、介護技術の向上と支援方法の徹底！！

〈運営方針〉

今年度は、スタッフ一人ひとりの技術向上を計画的に実施していきます。
 排泄支援では、自然排便が行えるようにトイレでの排泄を意識し、自立支援と連動した知識・技術の習得を行います。
 また、入浴支援では安全な入浴方法を身につけ、入浴時の事故をなくすことやリラックスしていただけるような関わり方、空間づくりを学びます。
 基礎技術講習を定期的に行い、技術の習熟度を上げ、全体的なボトムアップを行います。
 日常的な身体の使い方を学び、福祉用具(スルスルシート、スライディングボード、グローブ、Hug等)の適切な使用方法を改めて学び、必要な福祉機器を提案し、導入時には適切に最大限活用できるようにします。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 排泄、入浴、食事介助等の知識、技術向上を行います。

目標2 ノーリフティングのボトムアップ研修を行います。

目標3 福祉用具、負担の少ない身体の使い方を学びます。

〈約束〉

- ① 自然排便を意識したケアを実施できるよう、知識と技術の共有を行います。
- ② 安全な入浴支援の習得とリラックスしていただける支援方法を学びます。
- ③ 支援全般の考え方として、自身の能力を最大限活かすことができるような支援技術を学んでいきます。

〈約束〉

- ① ノーリフティング基礎技術向上の機会を定期的に設け、ボトムアップします。
- ② 新人研修を計画的に実施し、確実に修得できるまでサポートします。
- ③ 各ユニットでノーリフティングに関する課題について協議し、対策を立てて実行していきます。

〈約束〉

- ① 技術向上や支援に必要な福祉用具の検討、提案を行います。
- ② 福祉用具の正しい活用方法を周知し、伝達を行います。
- ③ 支援の場ではもちろんのこと、日常的に身体に負担の少ない、身体の動かし方を習得します。

自立支援介護委員会

2024スローガン

四つの柱で支える、健やかな自立。心身ともに輝く未来をお手伝い。

<運営方針>

水分・運動・栄養・排せつを中心に、高齢者の健康と自立を支援した自立支援介護も今年で3年目。デイサービス・居宅・施設それぞれが関わる利用者様に対して、自立支援介護が提供できるよう、学び・実践・評価を進めます。取り組みを行う上での悩みや難しさを共有し、多職種でヒントや解決策を出し合いながら、利用者様や住民様の希望に寄り添える介護が実現できるように、法人全体で前にすすめていきます。習熟度に合わせて、自立支援介護のミニ動画を活用したり、エキスパート研修、マイスター研修に参加してそれぞれのスキルアップ・理解度アップを図り、おきな杜の自立支援介護を加速させていきたいと思えます。今年には自立支援介護の大きな土台の年になりそうです。全員で確かな土台作りをして、前にすすめましょう！

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 夢や希望を叶える目標に向かって取り組みます。

<約束>

- ① あきらめてきたことにもう一度挑戦する目標と一緒に考えます。
- ② 自立支援介護に取り組む目的を見失いません。
- ③ 小さなステップも利用者様や住民様と一緒に喜び、次のステップに繋がります。

目標2 多職種がつながります。

<約束>

- ① 提案に対して『できない』ではなく『できるためには』を考えます。
- ② お互いの専門性を生かして前向きな意見交換を行います。
- ③ 4つの基本ケアを理解して実践に向けて協力します。

目標3 自立支援介護理論の学びを深めます。

<約束>

- ① 自立支援介護理論の正しい理解をスタッフに広げます。
- ② エキスパートを目指して知識と理解を深めます。
- ③ エキスパートはマイスターを目指して自立支援介護を伝えられるようにします。

安全衛生委員会

2024スローガン

安全衛生委員会 Reborn！心も体も健康で意欲向上もborn(ホーン)とアップ！

〈運営方針〉

2024年度、安全衛生委員会は生まれ変わります。これまで、職員参加型で学習会をメインに活動をしていましたが、今年度は、産業医、衛生管理者、施設長や各部所属長が委員会に出席し、方針を決定し、全職員へ周知、落とし込み、実践していくかたちへと進化させていきます。以下のとおり、介護施設における安全衛生委員会の取り組むべき内容は大きく3つあります。

- ①腰痛対策…介護現場における腰痛対策指針に基づき、年に2回の腰痛検診を実施します。また入職時の腰痛状態の聞き取りや未然に防ぐためのチェックリストを活用し、腰痛予防対策を講じます。
- ②KY活動…各施設の管理者、職員がそれぞれの持ち場、立場の任務と責任を明確にし、職場の安全環境の確保に努めます。安全を先取りする活動で日頃から災害防止に努めます。
- ③職員の健康管理…定期健康診断とストレスチェックをおこないます。生活習慣病等の早期発見や健康指導につなげ、心身ともに健康で働ける状況へと指導します。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 腰痛対策。腰痛予防対策指針に基づく活動を基本から取り組みます。

目標2 危険予知＝KY活動を推進するための手法を学び、安全の先取りを実践します。

目標3 職員の健康管理と職場環境の向上に取り組みます。

〈約束〉

- ① 年に2回の腰痛検診およびその結果に基づく事後措置に取り組みます。
- ② 入職時に腰痛状態を聞き取る仕組みを構築します。
- ③ 作業前の体操や腰痛予防の体操などを紹介し、意識して実践できる仕組みを整えます。

〈約束〉

- ① 業務中の災害の要因となる不安全行動＝ヒューマンエラーを引き起こす原因を知り、危険予知＝KY活動を定着させます。
- ② 各事業所ごとに業務災害につながりそうな場面、場所をゼロにするための定期的なラウンドチェックを実施します。

〈約束〉

- ① 定期健康診断やストレスチェックをおこない、心身の健康管理に努めます。
- ② 働き続けるための職場環境の向上に努め、休憩場所の確保や、疲労の蓄積を抑えることができるような良好な環境を整えていきます。

生産性向上委員会

2024スローガン

本気の業務改革！システム、センサー、テクノロジー、ICT・・・イケてる職場になろう！

〈運営方針〉

2024年度の介護報酬改定の大きな目標のひとつに、これからの介護人材不足の中で更なる介護サービスの質の向上を図るための、職場環境の改善に向けた「生産性向上委員会」の立ち上げが追加されました。取り組み内容は大きく3つあり、以下の内容となっています。

- ① 人手不足の中でも介護サービスの質の維持・向上を実現するマネジメントモデルの構築(介護に関する業務を「直接的なケア」と「間接的業務」に分け、施設・事業所内の課題を抽出した上でPDCAサイクルを回していくことに取り組む)
 - ② ロボット・センサー・ICTの活用(テクノロジーを活用することで介護の質を維持・向上させていくことを推進していく)
 - ③ 介護業界のイメージ改善と人材確保(①で仕分けた「間接的業務」を、ロボット・センサー・ICTを活用することにより介護業界のイメージを刷新しつつ、活躍の場を創出して元気高齢者に参加してもらうなど、介護分野への多様な人材の参入促進につなげていくことを目指していく)
- この委員会を発足させ取り組むことで、「人材育成・チームケアの質の向上・情報共有と効率化」が図れ、それらが「介護サービスの質の向上」と「人材の定着と確保」につながるとされており、今年度新たに委員会を発足させ、課題の抽出、課題の解消に向け、取り組みを開始していきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 業務改善活動に向けたチームを発足！役割決めと課題の抽出をおこないます。

目標2 ロボット、センサー、ICT・・・機器の情報に高くアンテナを張り、システムに強くなります。

目標3 数値目標を5%とし、5%の削減、5%の効率化を目指します。

〈約束〉

- ① まずは仕組みと目標を決め、リーダーや役職者だけでなく、全職員が他人事でなく自分のことだと考え、意見を言い合えるミーティングを開催します。
- ② 課題の抽出とともに目標とする働き方を考え、目指します。

〈約束〉

- ① 目標1の課題を解消できるような機器の導入を検討します。
- ② どんな機器があるのか、デモを実施。実際に使用している施設訪問などを積極的におこない、機器情報に強くなります。
- ③ システムに強い人材を育てます。

〈約束〉

- ① 20人でおこなっていた業務を19人で、2時間かかっていた業務を10分短縮できるように、数値目標を掲げます。
- ② 人材の雇用についても、ボランティアさんや多様な働き方、多様な人材の確保を検討します。
- ③ 効率の数値をデータ化します。